

2017年6月15日

各 位

J X 石油開発株式会社

マレーシア・サラワク州沖ラヤン油ガス田の商業生産開始について

当社（社長：三宅 俊作）のプロジェクト会社である J X マレーシア石油開発株式会社（社長：和佐田 ^{ひさのり} 演慎）は、同社がオペレーターとして 75%の権益を保有するマレーシア・サラワク州沖 SK10 鉱区のラヤン油ガス田において、5月28日、ガスの商業生産を開始しましたので、お知らせいたします。

ラヤン油ガス田は、同じ SK10 鉱区において既に生産中のヘランガス田の東方約 7 キロメートルに位置しており、生産されたガスは、ヘランガス田からのガスとともに、海底パイプラインにより、J X T G エネルギー株式会社が出資するマレーシア LNG ティガ社の液化プラント（サラワク州ビンツル）に輸送され、同社で液化後、LNG として日本国内の需要家などに販売されます。

ラヤン油ガス田における初期のガス生産量は、原油換算で日量約 12,000 バレルの見込みです。

当社は、本年 5 月 12 日に発表した中期経営計画の中で、選択と集中のため、東南アジアをはじめとした当社の強みを発揮できる地域に経営資源を優先配分することとしており、今後ともマレーシアにおいて、オペレーターとして石油・天然ガス開発事業に取り組むことで、同国との長期的・良好な信頼関係を維持・拡大し、収益力の強化を図ってまいります。

以上

添付資料

SK10 鉱区、J X マレーシア石油開発株式会社の概要

ヘランガス田、ラヤン油ガス田の位置図